

Q

(渡議員)

国保税の上昇対策について問う

A

関係課と連携し病気を未然に防ぐ事業に積極的に取り組んでいく。(平町民生部長)

Q 1

熊野町におけるこれまでの医療費削減対策の内容と効果は。

A 1

アンケート調査や保健師による戸別訪問・医療費分析等を実施、町の疾病特性を把握し、課題の抽出を行った。これを基に病気を未然に防ぐ予防を中心に各課連携して事業に取り組んでいる。

Q 2

生活習慣病予防対策事業が、本年度から試行的にスタートすると聞いている。最少の経費で最大の効果を上げる取り組みを、どのように考えているか。

A 2

平成17年度から個別健康教育を試行的に実施し、健康づくりを支援する態勢を整備していく。また、「健康くまの21」の計画策定に着手し、行政・医療・保健関係機関等が連携し、地域ぐるみで健康づくりに取り組む基盤整備を行う。

Q 3

事業全体の目標と予想される効果は。

A 3

健康寿命を延ばす取り組みを進め、家族ぐるみ・地域ぐるみでの健康づくりを、町民参画により推進する。これにより医療費や介護保険費等の社会保障費を削減することが期待される。

Q 4

医療費等の削減効果による国保税の中期・長期の見通しは。

A 4

今後さらなる被保険者の高齢化により、ますます厳しい国保運営を迫られると考えられる。国における三位一体改革など、今後の動向を見据えながら、公平かつ適正な負担を担い、安定的な国保運営を行っていく。



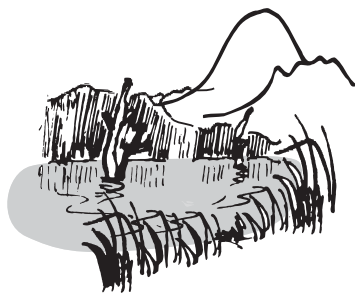
Q

(南田議員)

水利権の消滅した溜池の有効活用を。

A

権利関係を確認し、有効活用できるよう検討する。(平本町長)



Q

宅地造成等により田の耕作が無くなり、水利権が消滅した溜池が荒れ放題で、付近住民に迷惑をかけている。これを埋め立てて付近住民の利用できる公園やゲートボール場、会館敷地等、福利施設へと利用することを考えるべきだと思いがいがが。

A

利用者・管理者がいなくなつて放置されている溜池については、ご指摘の通り周囲に迷惑となつているものもある。このような溜池については、利水機能をはじめ、防災上の観点からも関係者の意見を聞きながら、権利関係の承諾が得られるものについては、公共的な施設として有効利用できるよう検討していきたい。

建設部関連質問